

立川市立若葉台小学校

学校だより

令和3年11月1日発行

校長 井土 満
〒190-0001
立川市若葉町1-13-1
TEL 042-536-3971
FAX 042-534-6943
HP <http://www.tachikawa.ed.jp/es21/>



ゆだん たいてき

油断大敵

いづち みつる

校長 井土 満

9月末で全国の緊急事態宣言が解除されてから、新型コロナウイルスの新規陽性者数が激減しています。それもあり、10月に予定していたハケ岳自然教室、日光移動教室、たんぼぼ学級の学級宿泊の3つの宿泊行事と、各学年の校外学習が無事実施できました。このまま落ち着けばいいなあと思いつつも、第6波の予想も出ているし、ここ2年間の経験からも、まだまだ安心できないという思いもあります。市から出されている通知も「感染対策を十分に」との文言は取れません。様子を見ながら、そろりそろりと進めていきますので、音楽会の「家庭1人の制限など、ご不満もあるでしょうが、行事ができることを「良（よし）」とし、ぜひご理解、ご協力をお願いします。

世間でも少しずつ経済活動が動き出し、旅行や外食の人出も増えてきました。私も旅行が趣味なので、どこかに出かけたい気持ちも出てはきているのですが、「いやいや、もう少しの我慢」と思って、まだ計画はしていません。でも、どこそこのお寺で、○○年ぶりの秘仏公開というニュースを見かけると、ろくな信心もないくせに、気持ちがそわそわしてしまいます。数年前の秋、比叡山延暦寺で秘仏の公開があった時には、夜行バスで出かけ、その日のうちに帰って来るといふ弾丸旅行をして、素晴らしい紅葉とともに、とても疲れたという思い出があります。

延暦寺は、今から約1200年前、最澄が^{ひまいぜんまにりやくじ}お堂（今の根本中堂）を開き、自ら刻んだとされる薬師瑠璃光如来がまつられています。本尊の前には3つの灯明がかかげられていて、その灯は最澄がともしてから1200年間一度も消えることなく輝き続けているので「不滅の法灯」と呼ばれています。1200年間、灯がともし続けられていることにも驚かされましたが、もっと驚かされたことがあります。この「灯」を守るための、油が常に切れないようにし、^{しん}芯が燃え尽きそうだと新しい芯に替えるという、その役割は、誰とは決まっていなかったこと。気付いた人が油を足し、気付いた人が芯を替え、そうして1200年間ともし続けられてきた、そのことに驚かされました。

そこには、役割を決めてしまえば、「誰かの仕事」というように他人ごとになってしまう、当たり前が、当たり前でできなくなってしまうという教訓があるそうです。当たり前のことができなくなり、油が切れたら火は消えます。「油断」「油断大敵」という言葉は、ここから生じたという説もあります。

私たちの生活の中でも、「誰かの仕事」「誰かがやるだろう」という気持ちをもつことは、よくあります。教室や廊下にゴミが落ちていたり、壁や床が汚れたりしていても、「誰かが掃除するだろう」と思ってそのままにしてしまうこと。使った道具を「誰かがかたづけしてくれるだろう。」と、そのままにしてしまうこと。そういうことは、教室や廊下だけでなく、職員室や印刷室にも見られるので、子供だから、大人だからではなく、誰の心の中にもあるのでしょうか。

宿泊行事や校外学習の場面で、こんな言葉が使われることがあります。「来たときよりも美しく」。この言葉には、延暦寺の法灯とつながるものがあるのではないのでしょうか。自分が使って汚したところはもちろん、それ以上に気を配って清掃、片付けをする。当たり前のことを、当たり前で。誰かがではなく、自分がやることで、後の人につないでいく。そんな気持ちが込められていると思います。

今、世界規模で課題になっている環境問題も、自分だけはいいや、誰かがやってくれるだろうと思っているうちは、解決しないのかもしれない。「持続可能な」などとは難しいことではなく、「誰かが」ではなく「自分が」の思いが大切なのです。それを1200年間の持続が教えてくれています。

新校舎も移転してから半年を過ぎました。あちらこちらに汚れも目立ってきました。使っているのだから、汚れていくのはしかたのないことです。でも、一人一人が、誰かがではなく、自分がと思えば、このあと、この校舎を使う人たちが、気持ちよく過ごせる素晴らしい校舎であり続けるはずで



立川市民科講座 4年生校外学習

保護者も交えて
玉川上水・小川分水の歴史を学習

◆ 11月の行事予定

1日(月) 安全指導 小中連携あいさつ運動 委員会活動⑦ 卒業アルバム個人写真・ 委員会活動写真撮影	22日(月) 振替休業日
2日(火) 全校朝会	23日(火) 勤労感謝の日
3日(水) 文化の日	24日(水) 集会(なわとび) クラブ活動⑧ 食育授業(3・4年) 三校交流会(たんぼぼ学級)
4日(木) 生活科見学(2年)	25日(木) なわとび月間始 九中訪問(6年) 都学力調査(5年)
5日(金) 社会科見学(4年)	26日(金) オリンピック・パラリンピック講演 十種競技 右代選手(全学年)
9日(火) 朝読書(教員読み聞かせ) ファーレ見学(5年)	29日(月) 委員会活動⑧
17日(水) 音楽朝会	30日(火) 全校朝会
18日(木) 音楽会リハーサル	
19日(金) 音楽会(児童鑑賞日)	
20日(土) 音楽会(保護者鑑賞日)	



◆ 一年ぶりの八ヶ岳自然教室、日光移動教室、たんぼぼ学級宿泊学習

昨年度、コロナ禍のため実施することができなかった宿泊行事。一年ぶりに実施することができました。子供たちの笑顔にあふれた宿泊行事となりました。



天候に恵まれた八ヶ岳自然教室



歴史に触れた日光移動教室



ルールやマナーを守って行動できた
たんぼぼ学級宿泊学習

◆ 地域を学ぶ～町たんけん(2年生)・市民科公開講座(4年生)

10月7日(木)、2年生が実施した生活科・立川市民科の時間の地域学習「それいけ! わかばたんけんたい」では、お弁当屋さんや農家の方々などへお仕事のインタビューをしました。

10月29日(金)には、4年生が市民科公開講座で「玉川上水と人々の暮らし」を学びに小平市小川寺方面を歩いて回りました。保護者の皆様、地域の皆様、ご協力、本当にありがとうございました。



地域の農家の方のお話を聞く2年生



小川分水など地域社会の
発展について学ぶ4年生

10月13日(水)、ビーチサッカー日本代表監督兼主将の東京ヴェルディビーチサッカーチーム茂怜羅オズ氏が本校を訪れ、5年生に「夢授業」を行いました。

他2日間、チームの選手が来校し授業をしてくださり、その様子は新聞にも掲載されました。

諦めないこと、仲間を大切にすることなどを学びました。